

# 第2期しまねの学力育成推進プラン 令和8年度 重点アクション

第2期しまねの学力育成推進プランに基づいて年度ごとに示す重点アクションを参考に、学校の実態に応じた取組を推進しましょう。

## アクション1

### 問題発見・解決能力を育む授業

全ての教科で大切にしたい「学びの過程」

- ① 「問い」をもつ
- ② 課題の設定
- ③ 課題の追究
- ④ まとめ・表現
- ⑤ 取組の振り返り・価値づけ

#### 「問い」を重視する

「問い」は、主体的な学びの原動力!

例) 「花の種の数はいくらなのかな?」(生活)  
 「この現象は地球にどんな影響を与えるのかな?」(理科)  
 「楽しい感じを出すために工夫ができないかな?」(音楽)  
 「相手にもっと伝わりやすい言い方はないかな?」(英語)

#### テーマや教材・授業展開・発問等を工夫して児童生徒が「問い」をもつことができるようにする

- ・「問い」のパターンを提示したり、思考ツールを活用したりする
- ・現実と理想との対比で「すれ」「隔たり」を感じさせる
- ・対象への「あこがれ」「可能性」を感じさせる

#### 様々な場面で「全ての教科で大切にしたい「学びの過程」」を活用する

#### 幼・小・中・高を通して、「学びの過程」を活用する場面や経験を積み重ねることで児童生徒の「自立した学びの力」を育てる

家庭学習でも 学級活動でも 学校行事でも  
遊びでも(幼児教育施設) 児童会・生徒会活動でも

#### 課題の立て方や情報の収集など「学びの過程」そのものを学ぶ時間・単元と、獲得した「学びの過程」を活用する時間・単元を意識する

#### 児童生徒が学習の「学びの過程」に活用できる知識・技能を保障する

## アクション2

### 全国学力・学習状況調査を活用した授業改善

まずは!!

- 1 全教員が問題を解く
- 2 結果分析、課題を特定する  
(例: 解答類型の分析)
- 3 改善内容と方針を協議する
- 4 授業を実施する
- 5 改善状況を検証する



～調査問題はこちら～  
 「今、育むべき力」・  
 「求められる授業」に  
 ついて、全教員が知る。

## アクション3

### 一人一台端末を活用した授業

#### 情報活用能力を育成する

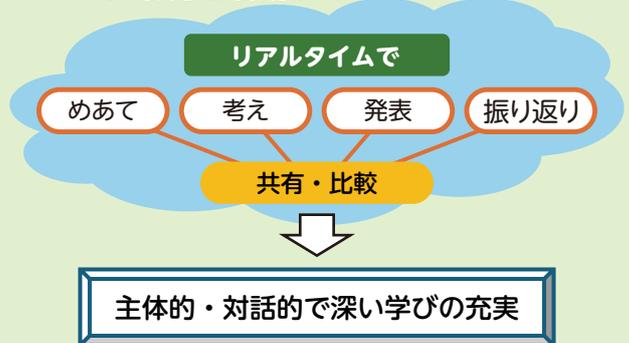
#### クラウド環境を活かした学習場面を工夫する

- ・自分の考えや意見を分かりやすく伝える
- ・友だちと考えを共有したり比べたりする
- ・情報を整理する(図、表、グラフ、思考ツールなどを使ってまとめる)

～「情報活用能力育成の目安」はこちら～  
 発達の段階に応じた育成の目安を、全教員が共通理解する。



#### クラウド環境を活用する



## アクション4

### 子どもが学び方を選択できる授業

#### ユニバーサルデザインの視点で、誰もが学びやすい環境を整える

○多様さを認め合う風土づくり

肯定的な言葉かけ

○発問・指示等の可視化

めあて・ゴールを示す タイマー

○学習に集中できる環境

必要最小限の情報 教室の整理整頓

#### 学びにくさはないか、授業を振り返る

○学び方や学びにくさの背景を探る

言葉の意味理解の状況 発達の段階

○他の教員と相談し合う、子どもや保護者に尋ねる

子どもの言動

#### 学びのオプション(選択肢)を用意する

○達成可能な目標の提示

達成感を味わえる課題設定 教材(紙・ICT)

○選べる学び方・進度を用意

形態(個別・ペア・遠隔) 思考のモデル(カード等)を提示

○自分に合った理解・表現の手段を用意

ホワイトボード ICTの活用

# 子どもが「できた・わかった・やってみたい」を実感できる授業づくり

目標		推進項目(◎:令和8年度 重点アクションとの関連)
1	基礎学力を育成する授業づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善</li> <li>・めあてと振り返りを大切にした授業の推進</li> <li>・学習する意義や必要性などを実感できる場面の設定</li> <li>・全国学力・学習状況調査結果を踏まえた授業改善と改善状況の検証(◎)</li> </ul>
2	学習習慣の基盤を育む授業づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題発見・解決能力を育む授業の推進(◎)</li> <li>・授業の学びと家庭学習をつなぐ工夫</li> </ul>
3	幼小中高の学びをつなぐ保育・授業づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちが、探究の過程を通して自ら学びを深めていこうとする力を育てる授業づくり(◎)</li> <li>・それぞれの学校種間での学びの連続性・発展性をふまえ、学びの積み重ねを意識した授業づくり</li> </ul>
4	ICTを効果的に活用した授業づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒が一人一台端末等を学びに生かすことができる授業づくり(◎)</li> <li>・教職員のICT活用指導力の向上</li> </ul>
5	多様な子どもの主体的な学びを支える授業づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ユニバーサルデザインの視点を生かした授業づくり(◎)</li> <li>・一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導の工夫(◎)</li> </ul>

## 重点アクションの評価参考指標と目標

アクション	評価参考指標		目標
アクション1	授業では、児童生徒が自分で学ぶ内容を決め、計画を立てて学ぶ活動を行っている	全国学力・学習状況調査	令和9年度の肯定的回答割合が、令和8年度比増 (アクション1~4)  平均正答率が全国値以上 (アクション2)
	小中義:総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいると思う児童生徒の割合	全国学力・学習状況調査	
	高:地域社会の魅力や課題について、自主的にテーマを設定し、フィールドワーク等を行いながら調べ、考える学習活動に対して、熱心に取り組んでいると思う生徒の割合	高校魅力化評価システムアンケート	
アクション2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国学力・学習状況調査質問調査</li> <li>①国語、算数・数学の授業の内容はよく分かると思う児童生徒の割合</li> <li>②国語、算数・数学の勉強は好きだと思う児童生徒の割合</li> <li>・全国学力・学習状況調査の平均正答率(国語、算数・数学)</li> <li>・全教員で問題を解き、各問のポイントや求められる力を共有した学校の割合[取組指標]</li> </ul>	全国学力・学習状況調査	
アクション3	学習の中でICT機器を活用することについて <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達と考えを共有したり比べたりしやすくなると思う児童生徒の割合</li> <li>・自分の考えや意見をわかりやすく伝えることができると思う児童生徒の割合</li> </ul>	全国学力・学習状況調査	
アクション4	中学校1、2年生のとき(小学校5年生)までに受けた授業は、自分にあった考え方・教材・学習時間になっていたと思う児童生徒の割合	全国学力・学習状況調査	

## 管理職のみなさまへ 管理職のリーダーシップによる、学校全体での取組推進をお願いします

### ①学校経営方針の策定

しまね教育振興ビジョンや第2期しまねの学力育成推進プラン、市町村の教育大綱等を踏まえて策定する学校経営方針に、具体的に取り組む「アクション」として示す

### ②年度初め職員会議

各施策、令和8年度重点アクション、学校経営方針の関連を教職員に説明し、理解を図る

### ③教職員評価の実施・人材育成

教職員が自己目標評価シートの項目を設定する際、学校経営方針を柱としつつ、令和8年度重点アクションとの関連が図れるよう、助言する

校内研修計画、人材育成に関して、研修履歴、自己目標、教育センター研修等の関連を図る

### ④校内研究の推進

校内研究と令和8年度重点アクションの関連を図り、授業改善の視点に生かす

こちらの資料もご利用ください

しまねの教育情報Web(EIOS)  
(島根県教育委員会)



授業チェックリスト  
(島根県教育委員会)



研修活用のススメ  
(島根県教育センター)



配慮を必要とする児童生徒への支援  
(島根県教育センター)



LDのある子どもの多様な学び推進事業  
オンデマンド研修【実践編】(特別支援教育課)

